

(3) 調査成果・検討委員会提言発表資料

1) 調査成果発表資料 (配布・発表共通)

安全安心なまちづくりフォーラム
平成20年度 広域ブロック自立施策等推進調査

犠牲者ゼロを目指した住民力の強化による
安全安心なまちづくり方策に関する調査

調査成果の概要

平成21年3月
新潟市

調査の背景・目的

■ 背景
- 自然災害、犯罪、環境問題、心身の健康、子育て、介護、食の安全など、様々な不安要素の増大に対して「人々が安全で安心に暮らせる社会」の構築が課題。
- 新潟市は地震、水害などの自然災害が発生した場合には、広範囲が被害も想定され、犠牲者発生を自覚し、人とひとが助け合い、支え合うコミュニティづくりが必要。

■ 目的
- 新潟市をフィールドとして、安全安心に対する市民意識・ニーズを把握するとともに、防災・防犯を軸とした新たな地域コミュニティのあり方をワークショップの実施により模索し、多様な主体の連携による安全安心なまちづくりのモデルを示すもの。

調査体制

■ 広域ブロック自立施策等推進調査
- 地域の主体性や地域からの発案を重視し、広域ブロックの自立的な発展に資する国土づくり、地域づくりに関する施策等を実施するために必要な調査を多様な関係主体の参加のもとに行うことにより、国と地方の連携の効果的な推進及び地域の独自性を最大限に活かした国土政策の実現に資することを目的に実施

■ 実施体制
- 連携省庁: 国土交通省、内閣府、警察庁
- 連携自治体: 仙台市、浜松市
- 実施自治体: 新潟市

調査内容

1. 安全安心に対する市民意識・ニーズの把握
⇒ 市民アンケートの実施

2. モデルコミュニティにおける住民力強化のための社会実験
⇒ ワークショップ

3. 安全安心なまちづくりへの意識や市民主体の価値観を醸成するための課題や方策の検討
⇒ 検討委員会設置・提言

1. 市民アンケートの概要

■ 目的
- 新潟市において地域による安全安心なまちづくりの展開に役立てるために、市民の「地域での安全安心なまちづくりに関する活動状況」や「地域コミュニティへの参加意識」などを把握するもの

■ 調査対象
- 新潟市民のうち、市内8区から各1,000人(計8,000人)を抽出。回収率は3,451票(43.1%)

■ 実施時期
- 平成20年12月～21年1月

■ 調査項目
- 地域の詳細把握
- 地域との関わりに関する認識・地域活動への参加状況
- 安全安心なまちづくりに向けた地域活動への参加意識
- ハザードマップの認識・理解の状況
- 行政の取り組みに対するニーズ

1. 安全安心に対する市民意識・ニーズの把握

■ あなたの住まいの「地域の課題」としてどのようなことがありますか？ (5つまで選択)

1. 安全安心に対する市民意識・ニーズの把握

■ あなたの住まいの地域で「自然災害が発生した場合」に、「不安」と感じることはありますか？ (複数回答)

1. 安全安心に対する市民意識・ニーズの把握

■ 防災対策に自分や家族の命を守るために、習得のような取り組みを行っていますか？ (複数回答)

1. 安全安心に対する市民意識・ニーズの把握

■ あなたは今や、地域が主体となった安全安心なまちづくりの活動を行う場合、参加したいと思ういますか？ (複数回答)

1. 安全安心に対する市民意識・ニーズの把握

■ あなたの住まいの地域で、「いざという時助け合える人、保護してくれる人がいますか？」 (新潟市 3,451人に回答)

1. 安全安心に対する市民意識・ニーズの把握

■ ハザードマップを見て、自分の地域がわかりやすいと思いますか？

1. 安全安心に対する市民意識・ニーズの把握

■ 防災に対する行政の取り組みとして、どのような取り組みが必要と你觉得ですか？ (複数回答)

2. モデルコミュニティにおける住民力強化のための社会実験等の実施

■ 安全安心なまちづくりワークショップの開催

■ 目的
- 地域で様々な立場で活動している方に集まり、防災・防犯の課題を解決して地域が抱えている課題、課題の解決、防災・防犯の課題を解決するための取り組みを実施

■ 実施時期
- 平成20年12月～21年2月にかけて3回

■ 対象地区
- 有明小学校区、松浜小学校区、亀田西小学校区の3地区

■ ワークショップ参加者
- 各地域のコミュニティ協議会、自治会、地域活動、学校関係者、企業等
- 人数: 各地区40名程度

2. モデルコミュニティにおける住民力強化のための社会実験等の実施

第1回: わがまちの「安全・安心」を点検しよう!

■ 有明小学校区
- 高齢者の多い地域なので災害時の高齢者対応が課題
- 古い建物が多く倒壊の恐れがある
- アートや家の住居との交流がない
- その他、停電や避難交通など、生活に課題を解決する

■ 松浜小学校区
- 商業の集積地が密集、大層と隣とに接している住民は不安
- 建物が古くなったため、津波が来たら
- 近年増えている外国人の方とのコミュニケーションをとることが難しい

■ 亀田西小学校区
- 地震の発生が頻りに、水害に不安
- 古い建物が多く倒壊の恐れがある
- アートや家の住居との交流がない
- その他、停電や避難交通など、生活に課題を解決する

2. モデルコミュニティにおける住民力強化のための社会実験等の実施

第2回: 地域コミュニティを活性化するための方法について考えよう!

■ 有明小学校区
- 企業の人たちとの連携
- 地域活動に企業参加を促すため、ポイントや賞品を出すのがよい
- アルビオンを軸とした大きな活動など、そのほか、地域の活性化を促す

■ 松浜小学校区
- 1階ベランダの開放を子供にやらせ、火の危険を減らす
- 地域の活性化を促すため、ポイントや賞品を出すのがよい
- アルビオンを軸とした大きな活動など、そのほか、地域の活性化を促す

■ 亀田西小学校区
- 企業の人たちとの連携
- 地域活動に企業参加を促すため、ポイントや賞品を出すのがよい
- アルビオンを軸とした大きな活動など、そのほか、地域の活性化を促す

2. モデルコミュニティにおける住民力強化のための社会実験等の実施

第3回: 「行動計画」を作ろう!

■ 有明小学校区
- 防災訓練に趣味的な企画を取り込むことで、多世代や外国人のコミュニケーションを促す
- 清掃活動などから、地域活動の活性化を図る
- 防災訓練の機会を有効活用し、地域活動の活性化を図る

■ 松浜小学校区
- 防犯や地域防犯に、安全安心の要素を取り入れる
- 多世代や外国人のコミュニケーションを促す
- 清掃活動などから、地域活動の活性化を図る

■ 亀田西小学校区
- 小学生は地域の宝と意識を持ち、地域活動に積極的に参加する
- 地域活動の活性化を図る
- 防災訓練の機会を有効活用し、地域活動の活性化を図る

3. 安全安心なまちづくりへの意識や市民主体の価値観を醸成するための課題や方策

■ ワークショップ結果から見える住民力強化の方向性

- 人とひと、人と地域とのつながりを醸成すること
- 地域への愛着心が責任と自覚を醸成すること
- 地域コミュニティを強化するための主体間のネットワークを構築すること
- 楽しさや充実感の実感につながる地域活動づくり
- 継続可能な地域活動に向けた地域コミュニティの自主性の強化
- 行政と地域コミュニティの対等な協働体制づくりと信頼関係づくり